

『ケベック研究』投稿規程・執筆要項

I. 投稿規程

1. 投稿資格：原則として学会員に限る（*依頼原稿はその限りではない）。
2. 使用言語：日本語、フランス語、英語。
3. 原稿：本学会の目的（日本における、ケベックを中心としたフランコフォニーに関する学術研究及び芸術文化交流の振興と推進）に適したテーマで、未発表の完成稿に限る。
4. 原稿の種類：次のいずれかに分類し、それぞれ A4判用紙横書き（40字×30行）で以下のページ数を上限とする。図表、参考資料、参考文献、注などもこの分量に含める。
 - (1) 研究論文 15ページ以内
 - (2) 研究ノート 13ページ以内
 - (3) 書評 4ページ以内英文原稿もこれに準ずる。ただし、必ずネイティブ・チェックを受けたものを提出する。
5. 研究論文、研究ノートには、200語程度の要旨（ただし本文とは異なる言語による）および、5語以内のキーワード（本文と要旨の言語で）をつける。
6. 投稿申込
送付先：102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1 ボアソナード・タワー20F
法政大学国際文化学部資料室 廣松勲 e-mail：ihiromatsu@hosei.ac.jp
締切：2016年1月15日（必着）
提出書類：以下の3点を提出する。なお、不測の事態に備えて、筆者の手元に必ずバックアップを残すこと。到着確認メールは送るが、提出された原稿及び記録メディアは返却しない。
 - (1) 投稿原稿 2部：プリントアウトしたものに(2)の表紙をつける。
 - (2) 表紙：タイトル（和文・欧文）、原稿区分、執筆者名（和文・フリガナ・欧文）、所属機関・役職名、連絡先（住所、Tel、Fax、e-mail）
 - (3) 電子媒体：MS Word 97-2003（フロッピーディスク、CD-R/RWなど、電子メールの添付ファイルも可）（氏名、タイトル、使用OS、ソフト名を明記）
7. 採択：投稿原稿の採否については、編集委員会から委嘱された各専門分野のレフェリーの審査に基づき、編集委員会が決定する（2月末）。採択条件としてレフェリーより修正意見がつけられた論文については、原稿を修正のうえ期日（3月31日）までに再提出し、修正が十分と判断されれば掲載可となる。なお、下記の執筆要項通りに執筆されているかどうかは採否の判断基準になるので留意すること。
8. 校正：2回著者校正は1回で、2回目は編集委員会が行う。著者校正時の大幅な書き換えは不可。
9. 投稿者は、掲載論文の電子化、日本ケベック学会ホームページでの無料公開（現在検討中）を了承したものとみなす。
10. 掲載誌の贈呈：研究論文と研究ノートの執筆者には、掲載誌 2部、抜刷 30部

を贈呈する。

II. 執筆要項

1. 本文について

- ①A4判用紙横書き（40字×30行）。
- ②フォントは和文には MS明朝、欧文には Times New Romanを使用する。数字はなるべく算用数字（半角）を用いる（第 1章、2人、3つ、など）。
- ③文字サイズは、タイトル 12ポイント太字、1行空けて氏名 11ポイント右詰め、1行空けて本文 10,5ポイント、引用 9ポイント。
- ④和文の句読点には「、」「。」を用いる。
- ⑤欧文文字や算用数字は半角文字（Times New Roman）を使用する。
- ⑥章、節などの記号をつける場合は、章は「1.」、「2.」、「3.」、第 1章第 1節は、「1.1.」のようにする。
- ⑦本文中で論者に言及する場合、初出時はフルネームで記載する。外国名の場合はカタカナ表記の後（ ）内にアルファベット表記を入れる。
- ⑧著書、雑誌などのタイトルには『 』（欧文の場合はイタリック体）を、論文タイトルには「 」(欧文の場合は « » または “ ”) を使用する。
- ⑨引用文は、短いものは「 」(欧文の場合は « » または “ ”) でくくって文中で示し、長い場合は左 2文字分下げ、9ポイントとし、本文との間に各 1行のスペースを置く。いずれの場合も、出典は引用直後に（若桑、2000、pp. 120-121）のように示す（出典明示のみの場合はなるべく注に回さず、ibid.等も使用しない）。

2. 注について

- ①注は脚注ではなく、末尾注とし、本文から 1行空けて始める。
- ②注には通し番号をつけ、本文の該当箇所の右肩に上付きで ¹ のように示す。カンマやピリオドがある場合は、その直前に置く。
- ③文字サイズは 9ポイント。

3. 参考文献について

- ①参考文献は論文末尾、注の後に、1行空けて始める。
- ②文字サイズは 9ポイント。
- ③和文と欧文を区別せず、著者の姓のアルファベット順に、同一著者の文献は発表年順に配列する。

例) 小林順子 (1997) 「マニトバ学校問題」日本カナダ学会編『史料が語るカナダ』
有斐閣、232～233頁。
小畑精和 (2003) 『ケベック文学研究』お茶の水書房。
Ricard, François (2000) *Gabrielle Roy, Une vie*, Boréal.
—— (2001) *Introduction à l'œuvre de Gabrielle Roy (1945-1975)*, Nota bene.

- ④単行本の場合は、著者（発行年）『書名』発行所。
- ⑤書籍論文の場合は、著者（発行年）編者『書名』発行所、10～20頁。
- ⑥雑誌論文の場合は、著者（発行年）「論文名」『雑誌名』号、10～20頁。
*洋書タイトルはイタリック。

4. その他

謝辞は原則として掲載しない。ただし、助成金を受けた研究の場合は、末尾に明記する。